

令和4年度生活支援相談活動管理職・担当者全国連絡会議 ～災害ケースマネジメントの視点を踏まえた生活支援相談活動～ 開催要綱

1. 趣 旨

近年、多発する自然災害を受け、被災地に限らず生活支援相談活動への関心が高まっており、東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨災害、令和元年台風19号災害等における生活支援相談活動の実践・経験があらためて注目されています。

各被災地においては、災害公営住宅等への入居後の生活支援がすすめられるなかで、生活困窮や孤立・孤独、コミュニティの脆弱化等に加え、長期化するコロナ禍により、被災者を取り巻く環境は、一層厳しい状況にあります。各被災地で展開されている活動は、支援が長期化するなかで、被災者へのフェーズに応じた生活支援が求められています。

こうした中で、現在、被災者の生活再建に向けた継続的な支援として、「災害ケースマネジメント」（被災者一人ひとりに寄り添い、生活全体における状況を把握し、それぞれの課題に応じた情報提供や人的支援など個別の支援を組み合わせて計画を実施する取り組み）の取り組みが進められており、災害ケースマネジメントの視点を踏まえた生活支援相談活動の展開が今後ますます期待されています。

そこで、今回の会議は、災害ケースマネジメントに焦点を当て、これまでの生活支援相談活動の実践や経験をあらためて振り返り、今後の生活支援相談員が果たす役割や支援のあり方等について考察することを目的として開催します。

※ 昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ライブ配信により実施します。

2. 主 催

全国社会福祉協議会

3. テーマ

災害ケースマネジメントの視点を踏まえた生活支援相談活動

4. 日 時

令和5年3月3日（金）13時15分～16時

※ 終了後、任意参加により16時～17時の時間帯で更なる意見交換を行います。

5. 実施方法

zoomミーティングによるライブ配信

6. 参加対象

- ① 生活支援相談員を配置している市町村社会福祉協議会の
 - ・ 災害・復興支援の担当職員
 - ・ 事務局長や課長などの管理職
 - ・ 主任（統括）生活支援相談員などの生活支援相談員を支える立場にある者
 - ・ 生活支援相談員
- ② その他、都道府県・指定都市社会福祉協議会、市区町村社会福祉協議会職員、共同募金会職員 等

7. 定 員

100名

※ なお、定員を超過する申込みがあった場合には、生活支援相談員を配置している地域の申込者を優先的に調整いたしますので、予めご承知おきください。

8. 参 加 費

無 料 (資料はデータでの提供で、印刷物での資料送付はありません。)

9. プログラム

時 間	主な内容
12 : 45～13 : 15 (30分)	zoom ミーティングへ入室開始
13 : 15～13 : 30 (15分)	<p>【全体】挨拶・報告「生活支援相談活動をめぐる動向」</p> <ul style="list-style-type: none">この間の生活支援相談活動の取組状況や、社協活動としての生活支援相談等について、災害ケースマネジメントや包括的支援体制の構築の視点を含め報告する。 [報告者] 全社協地域福祉部長 高橋 良太
13 : 30～14 : 15 (45分)	<p>【全体】講義「災害ケースマネジメントの視点に立った生活支援相談活動」</p> <ul style="list-style-type: none">災害ケースマネジメントの基本的な考え方や実施体制等について概説いただくとともに、災害ケースマネジメントの視点に立った今後の生活支援相談活動等についてご講義いただく。 <p>[講師] 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授 鍵屋一氏 (内閣府 令和4年度災害ケースマネジメントの手引書作成に関する有識者検討会座長) ※『月刊福祉 2022年11月号』(全社協出版部)の「特集：平時から災害に向き合う」において、論文「災害福祉支援の動向－個別避難計画、福祉BCP、福祉避難所を中心に」をご寄稿。</p>
14 : 15～14 : 50 (35分) 報告 25分 質疑応答 10分	<p>【全体】実践報告「生活支援相談員の活動支援と育成に向けた取り組み」</p> <ul style="list-style-type: none">災害ケースマネジメントの展開において求められる被災者一人ひとりに寄り添った個別訪問や情報共有の仕組み、生活相談員への研修等について、これまでの生活支援相談員の活動支援等の経験からご報告いただく。 <p>[報告者] 岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部主任主査 和山亨氏</p>
14 : 50～15 : 00 (10分)	休憩
15 : 00～15 : 50 (50分)	<p>【ブレークアウトルーム】(1グループ6名程度) 情報交換「生活支援相談活動の展開と災害ケースマネジメントの視点を踏まえた今後の支援の展望」</p> <ul style="list-style-type: none">講義及び報告内容を受けて、各グループ内で生活支援相談活動の現状や課題について共有し、災害ケースマネジメントの視点を踏まえた今後の支援の展望について考える機会とする。
15 : 50～16 : 00 (10分)	<p>【全体】全体共有「グループ討議の内容の共有と今後の展望」</p> <ul style="list-style-type: none">グループ討議の内容を全体の場で共有し、災害ケースマネジメントの視点を踏まえた今後の支援を展望する。
16 : 00～17 : 00 (60分)	<p>【任意参加】(途中退席可)</p> <p>情報交換「全体共有を踏まえた更なる情報交換」</p>

[参考] 月刊福祉 2022年11月号 特集：平時から災害に向き合う

論文 I 「災害福祉支援の動向－個別避難計画、福祉BCP、福祉避難所を中心に」

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授 鍵屋一氏

〔福祉の本出版目録〕 <https://www.fukushinohon.gr.jp/book/b10024185.html>



10. 申込方法

下記申込フォームからお申込みください。

〔申込フォーム〕 <https://forms.gle/b5JtFbfUmhHyXodk8>

※ 1 社協等で複数名申込する場合は、1名ずつ申込フォームよりお申込みください。

※ 2月24日（金）に申込フォーム登録者に一斉に申込確認メールを送信します。確認メールが届かない場合は、z-chiiki@shakyo.or.jpまでお問合せください。

※ 3月1日（水）〔予定〕に当日資料とzoomミーティングのURL、ミーティングID、パスコードをメールで送信します。

11. 申込締切

令和5年2月22日（水）17時（ただし、定員になり次第、締め切れます）

12. スケジュール（予定）

2月22日（水）17時	【申込締切】各社協等 ⇒ 全社協
2月24日（金）	【申込確認メール送信】全社協 ⇒ 各社協等
3月1日（水）	【当日資料・zoomURLメール送信】全社協 ⇒ 各社協等
3月3日（金）	【会議当日】

◆◇◆zoomミーティング参加にあたっての注意事項◆◇◆

- zoomミーティングへの参加が初めての方は、以下URLから接続テストを行ってください。
〔zoomテスト〕 <https://zoom.us/test>
- zoomの操作方法は、zoomヘルプセンターでご確認ください。
〔zoomヘルプセンター〕 <https://support.zoom.us/hc/ja>
- zoomミーティングに参加する場合は周囲の音声をマイクが拾いますので、事前に静かな場所を確保してください。もしくはヘッドホン、マイクの使用を推奨します。
とくに同じ場所で複数の参加者（複数の端末）がいる場合はハウリングを起こしますので、ヘッドセットをご利用ください。

【F A Q】

Q1 1社協等から複数名参加することはできますか。その場合、申込フォームにはどのように入力すればよいですか。

A1 できます。申込フォームには、1名ずつお申込みください（同じメールアドレスの登録でも構いません）。

Q2 申込フォームから申込送信後、参加者の変更や申込キャンセルはできますか。

A2 できます。2月28日（火）17時までに全社協地域福祉部までメール（z-chiiki@shakyo.or.jp）またはTEL（03-3581-4655）にてご連絡ください。

Q3 1台のパソコンを使って複数名参加することはできますか。その場合、申込フォームにはどのように入力すればよいですか。

A3 できます。申込フォームには、1名ずつお申込みください（同じメールアドレスの登録でも構いません）。

Q4 会議当日（3月3日）がどうしても日程が合わずに参加できません。当日の内容を録画した動画を配信する予定はありますか。

A4 ライブ配信の録画配信の予定はございません。

【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 地域福祉部（担当：岡崎、末廣）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL：03-3581-4655 FAX：03-3581-7858 E-mail：z-chiiki@shakyo.or.jp